

関係分抜粋

会議の名称	全 員 協 議 会	開催月日・令和2年4月24日 開会時間・午前・午後9時59分 閉会時間・午前・午後1時03分
出席者	南谷 清司 柴田 喜朗 粟津 明 毛利 廣次 後藤 國弘 原 一郎 川柳 雅裕 安井 智子 野口 佳宏 南谷 佳寛 豊島 保夫 堀 隆和 藤川 貴雄 山田 紘治 花村 隆 糟谷 玲子 星野 明 近藤 伸二	
欠席者		
オブザーバー		
傍聴者	中日新聞長崎記者 岐阜新聞長尾記者 市民4人	
説明のために出席した者	松井市長 成原副市長 森教育長 國枝市長室長 橋本総務部長 宮川企画部長 石黒健幸福祉部長 横山子育て・健幸担当部長 橋本健康福祉部次長 永田産業振興部長 不破教育委員会事務局長 渡邊秘書広報課長 入山新庁舎建設推進課長 稲葉新庁舎建設推進課長 田中総合政策課長 川田子育て・健幸課長 山田学校教育課長 豊田学校給食センター所長 亀山学校給食センター所長補佐 堀議会事務局長 藤井議会総務課長 澁谷議会総務課主幹 中村議会総務課主任	
協議事項	○協議事項 1 新型コロナウイルス感染症への学校等の対応について 2 その他	

【開会 = 午前 9 時 5 9 分】

星野議長

ただいまから全員協議会を開催いたします。
会議に先立ち、報道機関などから傍聴の申し出がありましたら、これを許可してよろしいですか。

(異議なし)

星野議長

傍聴を許可します。
初めに、今回一部で報道されました件に対して、不信を招くような結果になったことについて申し訳なく思います。これからは慎重な行動に周知徹底いたします。深くお詫び申し上げます。

(当該議員起立、頭を下げる。)

星野議長

それでは、執行部から説明願います。

松井市長

昨日、県におかれましてコロナウイルス対策の本部員会議がテレビ会議で行われました。県内全ての市町村長、そして、県の知事さん以下、幹部職員の合同会議でございました。その中で、所管の健康福祉部長さんから、お手元にございます報告事項を賜ったところでございます。関係を録音させていただき、ほぼ全て文章にさせていただいておりますので、私の方から読み上げをさせていただきます。令和 2 年 4 月 2 3 日開催、第 1 0 回岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部本部員会議、防災情報通信システムにより、夜、全市町村長参加における報告事項でございます。

感染症患者にかかる療養施設につきましてご報告を申し上げます。ご存知のように、後方施設の第 1 弾として、羽島市のホテル K O Y O さんを借り上げまして、一昨日 4 月 2 1 日火曜日の午後から受け入れを開始したところでございます。すでに報道されておりますけれども、2 1 日火曜日、午前中に羽島市の市議会議員の数名が県に無断でホテル内に入り、内部の写真を撮影し、その写真を SNS 上に掲載したことが判明いたしました。関係機関、関係者が一丸となってまん延期に耐え得る、医療提供体制の充実強化を進めている最中、大変残念でなりません。事実を確認しましたところ、まさに受け入れ前の看護師や県職員などによるミーティング中の出来事でございます。ホテルスタッフは地元の市議会議員であったことから、県に相談せず通してしまったとの

ことであります。ホテル側に対しては、県から厳しく注意するとともに、今後の対応について、再確認、徹底を行ったところでございます。なお、今回の事案に伴う防疫上の問題はございません。また、この会場にお越しである県政記者クラブの皆様におかれましては、開設までのスケジュール上の都合で何点か取材方法についてご理解、ご協力をいただいたにも関わらず、結果としてこのようなことになりましたこと、ご容赦くださいますようお願いいたします。以上でございます。

発言は先ほど申し上げました、岐阜県対策本部健康福祉部部長発表でございます。全ての市町村長の前で羽島市のこのような実態が、事実関係として公式に岐阜県から発表されました。私は断腸の思いで次のような発言を申し上げたところでございます。

ただいまも県本部からご報告を賜った次第でございますが、今般の羽島市議会議員8名の行動につきましては、事前に市側にも相談、連絡のない、まさに、不測の事態でございました。県のご尽力により、地域住民のかたがたも早く開設に向けてのご理解、ご協力を賜ったにもかかわらず、このような事態を起こしました羽島市議会につきましては、明日、市議会全員協議会におきまして、私の方から自制措置をとっていただくよう、重ねてお願いをいたします。知事を初め、県民のための安心した施設の開設に向けましてご尽力を賜りましたにもかかわらず、このような事態を引き起こしました地元市長として深くお詫びを申し上げます。以上でございます。

これに付属いたしまして、実は、一部報道機関では、県から市に抗議という、そのような報道がされております。この内容につきまして口頭でご報告を申し上げます。実は、4月21日の受け入れが決定した時点で、岐阜県知事から直接電話を賜りました。その際には、特措法等に基づく県の専権事項である、この後方支援施設につき、羽島市の協力を深く感謝をし、安心して県民のための収容施設をつくることができました。という極めて和やかなものでございました。翌日、4月22日、午後0時20分頃、再び県知事からお電話をいただいたところでございます。この関係では、私の所管外でございますので、叱責はございませんでした。しかしながら、今回のような、自分の耳にまで入ってきた事案について、場合によっては施設の閉鎖まで考えざるを得ないような深刻な事態であると、このようなことが起きたことは極めて残念ですという知事からの直接のお言葉を地元市長として承ったところでございます。最後になりますが、開設前のホテルK

OYOで行われた事前説明会に、立ち入りを無断でされた大部分の議員さんは出席をされていたと県現場本部からも承っております。その際には長良医療センターの専門ドクターが地域住民のかたがたに十分なお説明をされたとも聞き及んでおり、医療機関に準じた形の命を守る収容施設を視察されることについて、私は甚だ疑念を持っております。昨日も私と副市長で、複数の近隣住民のかたにも、多くはございませんが、ご意見を伺えました。県の説明は非常によくわかったというお話を承ったところでございます。専門的な見地の中で行われた、除染作業等々の関係にも重大な影響を及ぼすような今回の活動については、ぜひとも自制を賜り、今後とも正確なる議員活動をしていただくことを切にお願いを申し上げます。以上でございます。

近藤議員

私どももですね、高陽社の施設に入ったこと大変申し訳なく思っております。また、SNSで公表したことも反省して、すぐ削除させていただきました。一点だけお話をお聞きしたいんですが、先ほど市長からいろいろとお話がありました。こういった問題がですね、先ほど報道関係の記事はですね、正しいかどうかわかりませんが、ホテル側から岐阜県に事後報告があり、県は羽島市対して抗議をしたということがどうも間違っていたようなことではございましたけれども、それで、いろいろな事案が発生したときにですね、そういったときにですね、なぜ、執行部は議長にですね、まずお話をされていなかったかということですね、大変疑問に思っております。いろいろな場所ですね、報道関係にコメントはされておりますけれども、議長と話し合いが全くされていないと、今日までですね、されていないというような印象を受けていますが、その点はどうでしょうか。

松井市長

本来であれば、市議会議員のかたが行われた活動が、なぜ県知事さんから私の方に来るのでしょうか。公選で選ばれた議員各位の代表者は市議会議長さんでございます。直接私の方に報道機関の取材であったり、あるいは、知事さんから私に経路されること自体が、今回の活動の深刻さを物語っているものと私は思っております。あるかたのフェイスブックのアップが通報された事実もでございます。その中に氏名以外の克明なる所属会派が記された文面を市側は通報により確認いたしました。その関係から議長さんにお話しをしなかったことは、これ以上の発言は差し控えさせていただきますが、当然の行為であると認識しております。以上です。

(略)

星野議長	<p>続きまして、今回の新聞報道等について、先ほど議会運営委員会が開催されましたので、その結果を報告願います。</p>
南谷佳寛議員	<p>先ほど議会運営委員会を開催いたしましたして、これからの議題について当事者には除斥を願い、残りの委員で話し合いをいたしました。それで決まったことが、先ほどの当事者8人のかたにここで説明を願って、皆さんで協議をしていただくということで、議会運営委員会で決定いたしました。よろしくお願いたします。</p>
星野議長	<p>それでは私も当事者ですので、私からですね、説明させていただいてもよろしいですか。皆さんの元にですね、岐阜新聞がありますね。それを開いていただくと一番ありがたいんですけど、だいたいこのようなことですね、岐阜新聞が一番正しいのではないかと思いますので、これを見ていただければ一番ありがたいと思いますけれど、私どもはですね、市議8人はですね、県の許可を受けずに館内を視察したということで新聞に載っているんですが、そのとおりでございます。それからですね、館内を撮影し、写真をですね、SNSに載せたということ。これは本当にですね、私どもが本当に無断で掲載したことは本当に悪いと思っております。県の方も連絡なしにですね、入らせていただきましたけれども、本当に申し訳ないと思っております。ということで、初めにですね冒頭に、今回報道されました件に対してですね、不信を招くような結果になったことについてですね、申し訳なく思っております。これからはですね、本当に慎重な行動に周知徹底いたしますのでよろしくお願いたします。本当にお詫びを申し上げます。どうもすみませんでした。ということなんですけれど、経過報告、簡単に説明しましたけれど。</p>
近藤議員	<p>議長の方から今、話がありましたので、私どもの今回の件につきましてはですね、新聞紙上では無断でということでございますので、ほぼ報道された関係に対しては、誤解を招いたことに対しまして大変申し訳なく思っています。また、県とか、それから高陽社、それから、フェイスブックの掲載等につきましては、ご注意いただきましたので、すぐ写真と記事につきましては、私どもが掲載したのものについてはすぐに削除させていただきました。それで、このホテルに入った経緯を少しお話しさせていただきますと、前日にですね、7時からコロナウイルスの説明会がございました。そのときに、地元住民の方から先ほども話が出ましたのでだぶるかもわかりませんが、地元住民の皆さんからいろいろな、</p>

様々なご意見がありまして、東の入口、先ほど執行部から説明あったと思いますが、その夜のときの説明はですね、東口の入り口が説明でありました。それで、複数の地域住民の方から高陽社の車両とか、それから東口から入ると自分の家の前になるものですから大変不安を持っておられるということで西口にしてはどうかという提案がございまして、それについては県の方も検討するというような答弁でございました。そこで、私どもとしてはですね、たまたま説明会に複数の議員が寄っておりましたので、その議員で明るいうちに一度現場を見に行こうかということになりまして、日曜日の午前中にですね、現場に行きまして、それで西口の現場をですね、8名の議員で見まして、これは大変ガードマンもおみえなって対応をすぐにしていただいたなど。まだ作業中でした。そのときは、一部作業中でしたので、その作業のところを見させていただきまして、大変地元住民の皆さんの意向に沿って作業していただいておりますということを見てきました。そこでたまたま、表のホテルの方に歩いていったときにたまたま、私が交渉したわけではないんですが、ホテルのですね、〇〇〇〇〇ですか、〇〇〇ですか、〇〇ですか、そのかたとお話したときに、中もきちっと説明しますよという話しになりまして、それで8名の議員はですね、担当者のかた、ホテルの〇〇〇〇〇の指示というか、こっちですよ、あっちですよということをきちっと説明をしていただいて、館内を見させていただきました。そこで、複数の議員、4名ほどがスマホとかで写真を撮っていたと思います。それでこの岐阜新聞の記事がお手元の方にありますが、視察した1名の議員はということで書いてありますが、その8名の議員は全てですね、見学は地域住民に説明するためで、〇〇〇に受けていただいたことで、たまたま県の方には正式には、その時には連絡をしなかったと思いますが、〇〇〇〇〇〇が気を遣っていただいて、入所させる場所とか、それからスタッフがどう動くとか、それからごみをどういうふうに処分するとかですね、そういうことを丁寧に説明していただきました。それで新聞紙上で報道とかでは無許可でということでございますけれども、私どもの行動はですね、〇〇〇〇〇〇といいですか、〇〇〇〇〇といいですか、そのかたに引率といいですか、指示ということではないですけど、案内していただいたということでございます。以上です。

山田議員

まずもって、この件、本当に皆さんがたにお騒がせしたということについては深くお詫びをしたいと思っておりますし、先ほど近藤議員の方からご説明がございました。ほぼ同じ考えで

堀議員

あると思っておりますので、一つよろしく願いいたします。

それでは私の方から、今、経緯については説明がございました。それである〇〇〇〇〇〇が好意的にこのように案内をしていただいたというような形で、最初お邪魔するのはどういう目的であったかといいますと、説明会のときに、何度も話しが出ておりますように、東の入り口を西の方に変えると、その工事をなされるというようなことを聞いておりましたので、その工事が本当になされているのかな。どんな状態になっているのかなというところを確認したいというところで、私はそんな思いで、ホテルＫＯＹＯの方の西の入り口の方へ行きました。そこで車を少し停めて、このようにシートが貼ってあるんだな、覆いがしてあるんだなというようなところで、まだ工事をなされている途中だなというところで確認をいたしました。その後については、今言われましたように、正面玄関の方へ車を停めていましたら、正面玄関の方で〇〇〇〇〇〇が案内していただけるというようなところでありますので、説明会のときにもある女性のかた、近隣住民の女性のかたが横浜港のプリンセス号、そのときにレッドゾーンとグリーンゾーンがはっきり区別されていないからというようなところでそういう点について注文をされておりました。そんなところで、〇〇〇〇〇〇が案内しますというところでありましたので、そういうところも確認できるんだなというような思いで私は〇〇〇〇〇〇について、見させていただくというところでありました。そんなところで、要は、説明会のときに意見が出た。そういうところを私の目で確認できるなど、そして、そういうところについて市民の安心、安全というところが確保できるかなという、そんな思いで参加させていただき、視察させていただいたというのが本音でございます。しかし今、1番最初にありましたように、県の許可とか、そういうような点について、十分に確認を取らずに入ったということについては反省をしております。本当に謝罪をしたいということを思っています。以上でございます。

川柳議員

まずもって、今回のお騒がせした件についてはお詫び申し上げます。しかしですね、私、今回見せてもらって、内部を見せてもらったことは本当に貴重なものだというふうに、尊いものだというふうに思っています。今からではもう見ることはもうできないと思うんですけど、本当に、ここにいる議員の皆さん、そこを見れば本当に正確な情報が、正確な施

設が、安全対策が市民に伝えられるということができたと思います。これは残念なことですが、こんな未曾有のウイルス災害というのは私も初めてですし、おそらく日本の皆さん、世界の皆さんも初めてのことだと思います。こうやって皆さん本当に緊張感のある中で、皆さんストレスもたまっている中で、皆さんも思うことがあるかもしれませんけれども、あくまでも患者さんのため、そして市民のためになるようなことだと思ってやったことが裏目に出ましたけれども、私はこれからの追求をしますし、調べもしますし、でも、今回私たちがやってしまった無断というようなこともありました。そういうところを反省しながら、これからも議員として一生懸命市民のためにやっていこうと思います。本当に申し訳ございませんでした。そして、これからも頑張ります。よろしく願います。

毛利議員

説明の方は議員の皆様と同じように、前日から、その確認ということでまいりまして、施設の方を見学させていただきました。本当に県等にそのような報告もなかったということなので、本当に申し訳ありません。市民の皆様にはご迷惑をかけました。

栗津議員

まずもって、誤解を招いた行為、誠に申し訳ございませんでした。今の私の気持ちは、説明会に市当局からは総合政策課田中さんだけ、國枝室長はオブザーバーという形で出席をされておった。私の考えを少し述べさせていただきますが、

星野議長

考えでなくて、経緯だけ話してください。

栗津議員

地元住民を説得しなければいけないと、何が何でも説得しなければならぬと強い気持ちで私はもう一度皆さんのために説明できるように、自分で理解をしてやりたいという強い思いでございましたので皆さんとともに、入り口の変わったところを見に行く、そういう状況を作ったわけでございます。何はともあれ申し訳ございませんでした。

柴田議員

まずもって、ちょっと謝罪させていただきたいと思えます。申し訳ございませんでした。私達がやったことに対して正当化するつもりはございませんが、ただ、先ほどから申し上げているとおり、やはり市民の皆様には周知する、安心、安全な経営をしているよということ、そちらだけを本当に伝えたいという気持ちだけで行動した形になります。ただ、先ほどから申し上げているとおり、県に許可を取っていないと

	<p>いう形であったことに対しては私たちの本当に無知な部分、議員として、議会として、本来とるべき姿ではなかったのかなというふうに思っております。大変申し訳ございませんでした。以上でございます。</p> <p>(略)</p>
--	---